

式 辞

本日、入学式を迎えられました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長崎総合科学大学の教職員一同、心から歓迎いたします。

本来ならば、皆さんと一堂に会し、皆さん一人ひとりの名前を呼ばせていただき、入学を祝福したいと考えておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、残念ながら、オンラインによる分散しての入学式になってしまいました。

特に、ご家族の皆様には、本学にお出でいただくこともできず、本当に申し訳なく思います。これは、本学の社会的責任、そして何よりも、皆さん方の生命と健康を守ることを最優先にした結果であることを、ご理解いただきたいと思えます。

皆さんは、よくぞ長崎総合科学大学に入学されました。本学は、八十年近い歴史と伝統を誇る長崎県内唯一の理工系の小規模な私立大学です。

本学の教育の特徴は、「少人数教育体制で、モノづくりのプロを育てる」ことにあります。

皆さん一人ひとりを大事にし、皆さん一人にとりに寄り添い、丁寧できめ細かい指導を行い、信頼される立派なモノづくり人材に育て上げて、社会に送り出すことを約束したいと思えます。

大学の教育は、「何を教えたか」ではなく、「皆さん方一人ひとりが、何を学び、何を身につけることができたか」ということが問われています。

したがって、あなた方も、「大学で何を教えてもらうか」ではなく、「大学で何を学び、身につけるか」しっかり考えて大学生活に臨んでください。

そして、四年後に卒業するとき、皆さん方全員が、それまでの四年間の成長を実感して「長崎総合科学大学で学んでよかった」と言ってくれるようになることを期待しています。先生方も一生懸命皆さん方と向き合っています。

私立大学には、「建学の精神」と「大学の理念」があります。本学の場合、「建学の精神」としては、「自律自彊」「実学実践」「創意創新」「宇内和親」の四つの言葉が掲げられています。

「自律自彊」とは、自ら努力し、励んで、自分自身を高めること、「実学実践」とは、地に足をつけ、実際に社会に役立つ技術を開発・実行すること、「創意創新」とは、常に先進的で独創的な技術を開発して、社会の発展に寄与する新しいものを作り出すこと、「宇内和親」とは、常に世界的視野

で考え、人類の平和を育むことです。

また、大学の理念として、「人類愛の存するところ、技術への愛もまた存する」というギリシャの先哲ヒポクラテスの言葉が掲げられています。この言葉は、「科学技術は、人類の幸福と平和の発展のために役立てることを意味したものです。」

この「建学の精神」と「大学の理念」は、本学の教育の根幹をなすものであり、人類への愛と教育・研究への情熱に満ちたものであります。

これらの精神を身につけ、思いやりの心にあふれた「ものづくり人材」を育成することが本学の教育の目標です。日々の学びの中で、これらの精神を思い起こすことで、学びの羅針盤としてください。

ところで、これからの四年間の大学生活では、大人として行動することが求められます。それは自分の考えで行動し、その行動に責任を持つことです。また、自分の進むべき確かな目標を持つことも大事です。その目標に向かって懸命に努力することです。

主体的、自主的に、勉学、課外活動、ボランティア活動等に精いっぱい行動してください。そして、それらの行動の中から、幅広く多くのことを学んで、人間形成に努めてください。

また、これらの行動の中で、志を同じくする友人を作ってください。学生時代にお互いに切磋琢磨し、励ましあった友人は、生涯の友になります。

注文が多くなってしまいましたが、私たちが一番望んでいるのは、皆さん方が一日いちにちを大切に、充実した楽しい学生生活を送ってくださることです。

皆さん方のこれからの充実した楽しい学生生活を祈念して、私の式辞と致します。

令和三年四月二日

長崎総合科学大学

学長 池上 国広